



学校・地域・PTA の活動

【「はりがや防災守りたい」発足！
：針ヶ谷小5・6年】

日頃から災害時の避難方法について関心を抱いていた本校児童の有志が、12月24日の二学期の終業式に地域の方々を招いて「災害時の行動のしかた」を発表しました。

これは11月15日の針ヶ谷小学校避難所運営訓練の見学をきっかけに、小学生が災害時に安全安心に対処できる方法を探ったものです。この発表会をとおして全校児童に改めて自らの防災への関心を高めたものとなりました。

(「守りたい」作成「在宅避難」の紹介ポスター)

(「はりがや防災守りたい」は、全校児童にわかりやすい説明をして、防災の大切さを高めてくれました)



【ぼくゆうの大道芸ショー開催！

：PTA】

2月21日、体育館でPTA主催の「ぼくゆうの大道芸ショー」が行われました。ギネス世界認定のバランス芸や様々なパフォーマンスを披露されました。観客らは(↓積み重ねた不安定なハラドキドキ。大興奮して 筒の上に立ちます)楽しんだ時間でした。

(140名ほどの参加でした)



【朝のあいさつ運動

：領家7丁目渡邊さん】

登校時、東門を中心に「朝のあいさつ」の呼びかけをしてくださる方がいます。領家7丁目の渡邊さんです。普段でもふつうにお互いあいさつできるとよいですね。



「針ヶ谷ふれあい子ども教室」

土曜チャレンジスクールは、2月7日に《不思議につながる出口と入口!? 工作で作ろう!》でした。床にドアがあったり、天井が床だったりとか奇妙な不思議な部屋づくりでした。こちらの作品は上記の展覧会に出展予定です。



2階と1階の部屋です。下の1階は部屋を横倒しにした感じです。1階は床が壁のように縦になり、壁が床のように横(下)になっています

【2月7日の土曜チャレンジの作品は3月18日(水)～22日(日) 県立近代美術館での展覧会に出品予定】

2月14日は《人と人をつなぐ、声の不思議を実感しよう!》でした。アルミホイルや風船のふるえ、塩の動きなどで声のひみつを体験しながら音の伝わり方を探っていくチャレンジスクールでした。最後は4人や全員(12人)で糸をつないだ糸電話を楽しみました。



↑風船にくちびるを近づけて声を出す → 大勢で糸をつないで風船が震える → 糸電話遊び